皆さん、

保護者の皆様方、

ますが私達一人一人が出来る 問わず最大の課題となってい

培い育むにあたって、第一はいことです。そういった力を

とを願っております。

を発揮するということは難し 然のことですが常に心を養っ 判断力であるとか、どれも当 思い切った進路変更を出来る 踏ん張る力、窮地に陥った時

ておかなければ、突然その力

ることを楽しみとして、

真和中学・高校の生徒の

す。

景気対策は国内、国外を

があったことと推察致しまれましても様々な状況の変化

りの現状で、各ご家庭におか ありましたが、ご存知のとお て頂ける様願っております。

昨年まで景気は回復帰調で

に立ち上がる精神力、

或い

ります。私達保護者が力を

合わせて遂行しながら、

出来る年となる様お祈りし た生徒達が充分に力を発揮 うございます。希望に満ち 入学、進級、誠におめでと

生徒達にとって、

備えの時期

仏教に基づいた教育は、大き

い将来社会に出ることになる ことは何でしょうか。私は近

である今、

心に強さを培って

早く学校生活に慣れ

チャンスを摑みとる場面での

強い心とともに優しい く貢献頂けるものと確信致し 務めでありますが、真和での 生徒達自身と私たち保護者の

します お祈り申し上

ております。そして子供達が

もらいたいと考えています

特に新入生の皆さん

通

弁護士をめざして 真関 久保田 西 司 O 昇 (6期生) B 弁 護 法界 で活躍 す

の六期生として入学しまし 立藤園中学校から、真和高校 昭和四十四年熊本市

在にいたるも感謝していま 年間本当にお世話になり、現 なりになりました山崎先生で 担任の先生は昨年お亡く 同先生には在学中の三

ことながら一次の短答試験で 試験を受けましたが、当然の昭和五十一年に初めて司法 高校の一学年は三ク 暮れていました)。そして、実に、遊びとアルバイトに明け 謳歌していました(要する りの友達とともに大学生活を そのような中において私も周 われないような状況でした。 教養課程の授業がなかなか行 まだ学生運動の名残があり、 指しましたが、当時同大学は たからでした。 大学入学後、 遊びとアルバイトに明け 司法試験を目

真和中学·高等学校育友会会長

場

成

あっては学校行事などのサ

育友会の活動

は

に強さを

真

私は、

昭和四十七年に大阪

和

ていました。早朝の課外に備 る上熊本から自転車通学をし 学校でした。私は、自宅のあ して注目はされていました た。当時から新設の進学校と ラス九十名余りの男子校でし

す。

験の勉強を開始した次第で達がいなくなりやっと司法試

んな就職していく中、遊び友 のは入学後四年目の昭和五十 際に司法試験の勉強を始めた

年からでした。同窓生がみ

え朝暗いうちに自宅を出たよ つな覚えがあります。

が、

まだ歴史の浅い若々し

| 市立大学法学部に入学しまし 初めての入学生となりました (同大学には真和高校から 司法試験に合格者を出してい格率が二%の狭き門であった 大学を選んだ理由は、当時合 では全くの無名校でした。同 た)。大阪市立大学は、熊本 3 率が七ないし八倍だったと記 して修習し、昭和五十八年に 六年から二年間司法修習生と の各試験を合格し、昭和五十 五十五年に短答、論文、口述 憶しています。 七倍、第二次の論文試験の倍 短答試験の倍率は約六ないし 態でした。ちなみに第一次の 大阪弁護士会に弁護士登録を るものの論文で落とされる状 そして、受験五回目の昭和 それから毎年短答は合格す

在に至っています。 分の法律事務所を設立し、 なっていました。 しました。年齢は三十歳に 現在、 その後、昭和六十三年に自 現

5

「統合」に向けた新たな

ければ幸いです。 転勤されてきた同窓の方々は ご連絡を頂き是非出席いただ ますので、関西の大学に入学 ねて関西支部総会を行ってい 学してきた後輩の歓迎会をか 年十二月に、関西の大学に入 のお手伝いをしています。 西支部の事務局として同窓会 してきた後輩ならびに関西に 真和高校同窓会の関 毎

本町第二ビル八階大阪市中央区本町二 (関西支部事務局) 一六二六二一〇八〇五 I

不合格になりました。 したが、第二次の論文試験で 不合格となりました。そこか 次の短答試験は合格しま 翌年の昭和五十二年には 毎日八時間の勉強を開始 ア 世 フリ 界で活躍する真

か事情

在エチオピア日本大使館

本

(23期生)

一等書記官 真樹

型し、一九六○年の「アフリカ統 に ばれたアフリカは独立を果た しました。そして、独立後の しました。そして、独立後の に ばれたアフリカは独立を果た に がれたアフリカは独立を果た ました。二十一世紀になり、 つつも、「独立後」の時代か アフリカは多くの困難を抱え アのアジスアベバに創設され 一機構(OAU)がエチオピ 独立から統合へ

慫慂されています。 り組む」の精神で更なる発展 の問題は、アフリカ自身で取 える人口、それに豊富な地下 には、五十三の国と八億を超②アフリカという巨大な大陸 ら「内政干渉」とされるよう 努力を続けています。通常な な分野において、「アフリカ ら経済・社会開発までの様々 アベバ)、平和・安全保障か され(本部は引き続きアジス アフリカ連合 (AU) に改編い、OAUは、二〇〇二年に い、OAUは、二〇〇二年に段階に入りました。それに伴 ③既に、共通の軍隊編成 想) は、 経済力を享受できる。これ フリカ待機軍) りました。 月、今年二月と二回続けて が参加)において、 AU総会(アフリカの全首脳 います。年に二回開催される つこと(アフリカ合衆国構 動機です。究極的な統合の姿 アジアに対抗しうる政治力、 「連合政府」 で、 統一政府と共通市場を持 アフリカが統合を進める その準備は始まって が主要議題に上

育環境の充実など様々にあ は、搾取された過去を克服資源があります。アフリカ んでくれることを期待して ート、対外的には私学教 域毎の経済統合を進めていま地域機関が中心となって、地 す。 その努力を支援しています。 身の手で統合が進められてお ウェイ構想)などが進行中で 備(アフリカ横断・縦断ハイ に分け、それぞれを管轄する また、アフリカを五地域 紛争管理と民主化 日本を含む国際社会は このように、アフリカ自 やインフラ整 テ 地

超えて発展されますことを 徒達がそれぞれの期待値を ご家庭、学校の繁栄と、生 ことをお願い申し上げ、各 とりひとりが活動出来るこ 気付かされること、感激す 徒や学校との交わりの中で 本年度もご協力頂きます ご挨拶と ひ 生. 連の安全保障理事会で扱われくの紛争を抱えています。国(1)アフリカは、依然として多 争の根絶に繋がります。不満 オピアのメレス首相は、「最 大きな原因は貧困です。エチ争に関するものです。紛争の の紛争を生む原因になりま を残したままの解決は、 さからの脱却だけでなく、 大の敵は貧困だ」と述べてい る議題の七割がアフリカの紛 よって、紛争を適切に解 貧困対策は、単に貧し 再発を予防しなければ 紛 する年間二万隻の船の一 ません。アフリカの多くの指 という負の遺産を背負っていは、アフリカを植民地化した るのか分かるでしょう。 日本関係)。これだけでも、 あります(ソマリア沖を通航 ン(海上交通)を守る必要が 更に、最近の海賊問題でも分 日本が何故アフリカに関与す かるように、重要なシーレー 日本にまで影響が及びます。 の世界では、 れば、グローバル化した現下

グ が納得し、

結束して初めて、 欧米や

昨年七 ます。これが、所謂チャリ でも日本の国益に置かれてい と同時に、その主眼はあくま 援は、アフリカのためである 交です。日本の対アフリカ支 をするのか?またどのような 三、日本の取り組み 国と協議・交渉を行うのが外 益を保護・拡大するために外 支援をするべきか?自国の利 (1)日本は何故アフリカに支援 ティー活動と根本的に異なる

あります 軍事力は限定的です。 点です。日本には何ができる

る日本の地位を確立し、世界を生かして、国際社会におけ でしょうか?憲法上、日本の の中で生き残っていく必要が ます。こういった日本の特徴 モデルを提示することができ す。また、民主国家としての

また、アフリカで紛争が生じ ②先述したように、アフリカ には豊富な資源があります。 日本には経済力がありま

ラに参加して闘った傭兵を地 理」と呼びます。反政府ゲリ 興支援」も重要です。 立を支援することも重要で なりません。これを「紛争管 す。こうした、紛争後の 域社会に再統合し、彼らの自 復 |導者たちは、「日本は、

和

Ö

B

②民主化の定着度合いを測る (3)昨年五月に横浜で開催され 援のやり方です。 分に練られた国家戦略があり DAを企画する背景には、いる」と評価しています。 アフリカのために支援をして の安定と発展に正しく向け と引き替えではなく、 ますが、その支援はアフリカ 純粋に

不満の衝突が原因です。 ジンバプエで最近起きた内紛 役割分担(パワーシェアリン 実施されるようになりまし は、いずれも選挙結果を巡る が今後の課題です。ケニアや 結果について、全ての関係者 た。選挙に不正がなく、適切 物差しとして、「民主的選 に実施されること。また選挙 アフリカの各地で選挙が がきちんとなされること が挙げられます。今で 国の運営に向けた リカの平和と安定なくして、 す。アフリカが日本を必要と の現れだと考えます。今、は、まさに日本に対する期 た第四回アフリカ開発会議 世界の平和と安定なし」です。 を必要としています。「アフ するように、 界は相互依存の関係にありま アフリカの首脳が参加した (TICAD) に四十人もの

世

●吹奏楽部[日野] 〔歌岡·河原·野口 生物部 ・オーケストラ部 ・コーラス部 写真部 [宮本修] 文芸部(北本) 宗教部 演劇部[赤山] [長坂] 〔元田(菩提)〕 [飛永] 野口

剣道部[松木] ●バスケットボール部(高) [長尾] ■弓道部〔野田·松永·緒方〕 女子新体操部[吉里] 空手部[小森]

●ハンドボール部〔大村·安部〕●サッカー部〔柴〕 ■卓球部(中島·影山) ■陸上部(高本·和田) バドミントン部[宮崎・溝口] 軟式野球部[國武·都田] 体育部 九州高校理科研究発表大会 優秀賞







日本もアフリカ

••••••

略歴

森本真樹(もりもとまさき)

昭和63年 (1988) 真和高校卒業 慶応大学法学部法律学科卒業 大学4年在学中に最難関の外 4年 (1992)

交官試験に合格 平成 4年 (1992) 外務省入省 外交官補としてフランス留学 在コートジボワール日本大使 平成 5年 (1993) 7年 (1995) 平成.

館勤務三等書記官 平成 9年(1997) 帰国後経済局政策課配属

(G8サミットなどの経済外交 の総合的な調整を行うところ) 平成14年(2002) 在フランス日本大使館二等書 記官

平成15年(2003) 在エチオピア日本大使館 書記官

平成21年(2009)4月 外務省帰省



[篠原]

囲碁将棋同好会 イラスト同好会

(福岡)

パソコン同好会 硬式野球同好会[桑田 パレーボール同好会 [長坂]

オペラ同好会[中島] ESS同好会[北野] 時事問題研究会[川野]

••••••

和田

◎副会長 ◎代議員 作 坂本 西 家郷 岩本 杉山 小山田 松田真梨乃 嶋田侑維莉 京子(Ⅱ-1) 除翔(Ⅱ-2) 英敏(Ⅱ-:維莉(Ⅱ-|綾華(Ⅱ-冬加(Ⅱ-1) 豊(II-3) ÎI 5 6 5 5

平成二十一年度 生徒会役員名

学園吹奏楽部

熊本県吹奏楽コン

◎生徒会長

松下 祥大(II-2)

●化学同好会〔野田〕